

図に示した下位到達度目標(A), 中位(B), 上位(C)からそれぞれの学力や興味・関心に応じて各目標に沿った課題を選択させ, 各自の学習内容に幅を持たせる。
〔手立てⅡ・自己評価票の活用〕

選択した課題に沿った各自の追究を自己評価票を用いて確かめさせ, 一人一人の追究状況に応じて援助指導を心がけ, 達成感が味わえるように配慮する。

以上の〔手だてⅠ・Ⅱ〕の効果については, 一つの言葉からどのような言葉が浮かんでくるかを書き出す「イメージマップ」を作成させ, その事前と事後との比較を通して判断したいと考えた。

3. 研究の実際と考察

(1) 検証構想

- ① 単元名 「ヨーロッパ, ソ連」
- ② 単元の目標 (省略)
- ③ 指導計画 (総時数11時間)

指導計画 (総時数 11時間、— で通った時間は「課題選択学習」)

次時	ねらい	処理的見方、考え方の内容(基・基本)	仮説とのかかり (共に、生徒の実態や強みに沿った 次時の指導に生かす)	評価面 *追究の達成度は? (生徒「満足度」)	
	ヨーロッパの位置をつかませ、自然を中心とする地域	・緯線度・北緯、 河川、半島、平原	・気候の要因(気流・風) ・気候の理由として2つ設定。 ◎ヨーロッパの位置・気候	*生徒の自己評価 *授業中の取り組み	
1	ソ連の位置を確かめ、大きな国土の自然や生活様式としての関係をつかませる。	・国土の位置と広さ ・気候 ・社会主義国 ・多民族国家	ロシア時代の歴史 ・5か年計画 (工業・農業) ・バルト3国国の独立	共通の目標として1つ設定。 ◎国土の位置・自然・経済のしくみ・気候などの関心を調べる(主に◎)。	*生徒の自己評価 *授業中の取り組み やワークシートの記入から調べる。
2	* ソ連の産業や生活の様子をとりかきさせる。 ・農業を主として ・工業を主として ・現代の様子を主として	・ソフホーズ ・コルホーズ ・農業地域(黒土帯) ・都市化 ・コンビナート(ク)立寄り ・ラカ、クズネットク ・消費物資の生産 ・シベリア開墾	・ソ連の貿易(食料輸入) ・食料輸入の要因(農業生産と気候) ・目標選択学習の進め方は第1次第3〜5時に同じ。 (農業) A農業地域や生産のしかたを調べる(主に◎)。 B自然条件とのかかりを調べる(主に◎)。 C貿易の面から調べる(主に◎)。	* (第1次第3〜5時に同じ)	
3	※ 生徒の関心や疑問を整理してみよう! ・1917年…「ロシア革命」(正確な日付) ・「ロシア」から「ソ連」になったのはいつか? → (ノ202年) ・ソ連は何主義の国か? → (社会主義国)	・ソ連の歴史 ・社会主義国としての発 の発 ・1991年・夏のクーデター	・クーデターの要因 ・クーデター後の激変(共産党解散等) ・ペレストロイカの現状と今後	目標選択学習の進め方は第1次第3〜5時に同じ。 (農業) A農業地域や生産のしかたを調べる(主に◎)。 B自然条件とのかかりを調べる(主に◎)。 Cソ連の今後の発展を調べる(主に◎)。 ・授業では、全員共通のまとめの紙を準備し、自分の目標以外の内容にも触れられるようにする。	* (第1次第3〜5時に同じ)

(2) 検証授業と考察

① 指導の概要

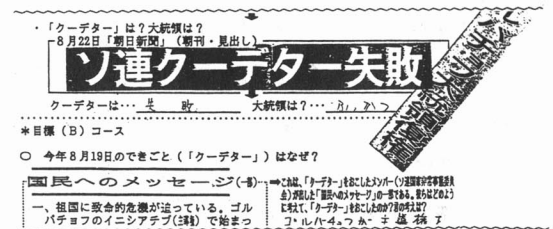
授業では, 各到達度目標に沿った課題ごとに追究内容に幅を持たせたワークシートを用いた。次のシートはその一部である。

～世界地理・ソ連4・現在(A)・(B)～

(A) ソ連は今/ (B) それは、なぜ?

*目標(A)コース

- 「ソ連」という国を整理してみよう!
- ・1917年…「ロシア革命」(正確な日付)
- ・「ロシア」から「ソ連」になったのはいつか? → (ノ202年)
- ・ソ連は何主義の国か? → (社会主義国)



シートを用いた追究は, 追究形態や追究方法は様々であるが, 最終的には, 同じ課題を選択した者同士で班をつくらせ, それぞれの追究結果を全体で発表させた。



〈新聞を用いた追究の様子〉

以上のような, 課題の選択や追究形態・方法の決定, 並びに, 追究後の満足度など一連の追究活動を, 自己評価票を用いて振り返らせた。生徒の記入には朱書きを入れて返却し, 活発な追究を促し達成感が味わえるように配慮した。なお, 次に掲げたものは, 「自己評価票」の実際である。